

初めてのチェックは黒丸、2回目は青丸、3回目は赤丸でつけましょう。

手洗い	常にできている (している) 80%以上	概ねできている (している) 50～80%	あまりできていない (していない) 20～50%	ほとんどできていない (していない) 20%未満
(1) 手洗いは石鹸と流水で30秒以上行っている。				
(2) 園児へ時間を設けて手洗いの指導を行っている。				
(3) 手拭きはペーパータオルか個人用のタオルを使用している。				
(4) 使い捨て手袋を使用した場合、手袋を外した後に手洗いをしている。				

おむつ交換	常にできている (している) 80%以上	概ねできている (している) 50～80%	あまりできていない (していない) 20～50%	ほとんどできていない (していない) 20%未満
(1) 使い捨て手袋は園児一人ずつ交換している。				
(2) 使用後のおむつ等はビニール袋に密封して移動し、適切に廃棄している。				
(3) おむつ交換は決まった場所で行っている。 (手洗い場が近くにあり、食事の場と交差を避ける)				
(4) おむつ交換の手技や汚物処理方法の手技は職員全体で統一されている。				
(5) おむつ交換後、マットやおむつ台、床を消毒している。				

嘔吐処理（日頃の準備）	常にできている (している) 80%以上	概ねできている (している) 50～80%	あまりできていない (していない) 20～50%	ほとんどできていない (していない) 20%未満
(1) 吐物処理の物品が備えてある。(使い捨て手袋、マスク、ガウン(エプロン)、ペーパータオルや使い捨て雑巾、消毒薬、ビニール袋、専用バケツ等)				
(2) 吐物処理の手技が園内で統一されている。				
(3) 園児が嘔吐した時、嘔吐処理に必要な消毒液の希釈がすぐに準備できる。				

実際の嘔吐処理	常にできている (している) 80%以上	概ねできている (している) 50～80%	あまりできていない (していない) 20～50%	ほとんどできていない (していない) 20%未満
(1) 使い捨て手袋、マスク、ガウン(エプロン)を着用している。				
(2) 十分に換気(対角線に2か所以上開けて)をしている。				
(3) 吐物を処理する人と園児を避難させる人(園児が吐物に触れないようにする人)とに分担されている。				
(4) 消毒は、0.1%次亜塩素酸ナトリウムで広範囲(半径約2m)に消毒している。(0.1%次亜塩素酸ナトリウムは、500mlのペットボトル1本の水に市販の漂白剤(塩素濃度約5%の場合)10ml(ペットボトルのキャップ2杯)で希釈したもの)				
(5) 処理後は手洗いをしている。				
(6) 吐物処理で拭き取ったものは二重にしたビニール袋に入れて密閉して廃棄している。				
(7) 汚れた衣類はビニール袋に入れて密封し、家庭での消毒方法を指導している。				
(8) 嘔吐のあった場所、日時を記録している。				